

令和3年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により，解答用紙に受験番号（算用数字），氏名，フリガナ，解答する科目を記入し，受験番号，該当する試験日，解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは，次のとおりです。試験開始の合図があったら，まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～17
世界史	18～36
地理	38～59
政治・経済	60～74

4. 受験票を試験時間中は，机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問，その他用件があるときは，手を上げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

日本史

〔 I 〕 次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

今からおよそ1万年余り前に更新世が終わり、完新世になると、それまでの寒冷な気候から温暖な気候へと変化した。日本列島では、森林は、それまでの針葉樹林に代わり、東日本では落葉樹林、西日本では照葉樹林が広がった。動物も、ナウマンゾウやオオツノシカなどの大型動物が絶滅し、ニホンシカやイノシシなどの現生動物が登場する。

こうした自然環境の変化にともなって、人びとの生活も大きく変わり、文化が成立する。人びとの食生活は、それまでの肉食中心のものから植物性食料中心のものへ大きく転換し、植物性食料を煮るために土器が生み出されたとされている。植物性食料を採取するための土掘り具であるが遺跡から大量に出土することは、植物性食料の採取活動が活発におこなわれたことを物語っている。また、木の実をすりつぶすためのすり石とのセットも多数発見されており、植物性食料の加工方法の一端を知ることができる。

周囲を海に囲まれている日本列島では、漁労活動が盛んにおこなわれたことが、釣針・銚・ヤスなどの骨角器の漁具が多く出土し、貝塚など多くの貝塚が存在することから知られる。また、各地で丸木舟が発見されており、伊豆大島や八丈島にまで当時の遺跡が発見されていることは、人びとが外洋航海術をもっていたことを示している。

ところで、当時の人びとは、地面を掘りくぼめ、その上に建設した建物であるを営んだ。中央に炉を配し、奥壁に祭壇を設ける場合もあり、数人の家族が一緒に生活したことが推測される。集落は、日当たりのよい、湧水に近い台地上に立地することが多かった。広場を囲んで家々が並ぶ環状集落が形成される場合もみられた。同時期に存在した家数は4～6軒程度で、20～30人ほどの集団が、ムラを構成したと考えられている。

しかし、人びとは集落を越えて行動する場合もあり、長野県の和田峠などで産出する石器の原材料であるの分布状況は、遠方の集団との間で交易がおこなわれていたことを物語っている。交易された資源には、石材のほかにも、鹿角などさまざまなものがあつたと推測される。

当時の人びとは、自然物や自然現象に霊威を認めるアニミズムの観念をいだいていたとされ、さまざまな呪術をおこなっていたと考えられる。呪術に使われた可能性が高いものに、女性をかたどった などがあるが、そのかたちは時間の経過とともに変化しており、呪術の内容も変化した可能性が高い。また、当時の人びとが亡くなると穴を掘って埋葬するのが一般的であったが、その際に死者の多くが されているのは、死者の霊が生者に災いをおよぼすことを恐れたためであろうとされている。

こうして1万年以上にわたって栄えた狩猟採集経済に立脚した 文化は、約2500年前頃、北部九州で朝鮮半島から伝わった 水稲農耕が開始されてから徐々に農耕に支えられた生活に移行した。農耕社会の文化である弥生文化は、西日本で成立し、やがて東日本にも広まった。しかし、北海道と南西諸島では狩猟採集経済が続き、すぐに水稲農耕が定着することはなかった。

問1 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 旧石器 ② 細石器 ③ 縄文 ④ 青銅器 ⑤ 中石器

問2 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 石匙 ② ナイフ形石器 ③ 尖頭器
④ 石錐 ⑤ 打製石斧

問3 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 敲打器 ② 石皿 ③ 石鏃 ④ 土錘 ⑤ 石錘

問4 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 白 滝 ② 尖 石 ③ 上黒岩
④ 加曽利 ⑤ 三内丸山

問5 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 竪穴住居 ② 貯蔵穴 ③ 岩陰遺跡
④ 掘立柱建物 ⑤ 平地住居

問6 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① ひすい ② 硬質頁岩 ③ サヌカイト
④ 黒曜石 ⑤ 石 英

問7 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 土 版 ② 岩 版 ③ 土 偶 ④ 埴 輪 ⑤ 石 棒

問8 文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 伸展葬 ② 再 葬 ③ 甕棺葬 ④ 火 葬 ⑤ 屈 葬

問9 文章の下線部 i に「水稻農耕が開始され」とあるが、水稻農耕の開始を示す遺跡として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 吉野ヶ里遺跡 ② 菜畑遺跡 ③ 唐古・鍵遺跡
④ 登呂遺跡 ⑤ 池上曾根遺跡

問10 文章の下線部 j に「北海道と南西諸島では狩猟採集経済が続き」とあるが、北海道で弥生文化と同じ時期に狩猟採集経済に支えられて繁栄した文化として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 10

- ① 南島文化 ② 続縄文文化 ③ 貝塚文化
- ④ オホーツク文化 ⑤ 擦文文化

〔Ⅱ〕 次のア・イの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

ア 鎌倉文化の特徴は、それまでの伝統的な貴族文化に、あらたに力強い武家の文化が加わり、発展したことにある。また、幕府が保護した禅宗の影響も強く受けた。

文学では、後鳥羽上皇が中心となって『新古今和歌集』が編集され、その影響を受けた は、『金槐和歌集』をまとめた。鴨長明の『方丈記』や、兼好法師の『徒然草』などの が書かれ、『平家物語』は琵琶法師によって平曲として語り伝えられた。

建築では、平氏の南都焼き打ちによって多くの建物を焼失した東大寺が、源頼朝や後白河法皇の援助を受けて _c 復興された。南大門は、 の建築技法をふまえた大仏様とよばれる簡素で豪壮な建築様式で再建され、門の両脇には、運慶・快慶らによって制作された躍動的で力強い金剛力士像がある。

絵画では、『北野天神縁起絵巻』や _e 『蒙古襲来絵巻（絵詞）』などの _f 絵巻物が数多く制作された。

問1 アの文章の に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 源実朝 ② 藤原定家 ③ 西行
④ 度会家行 ⑤ 九条兼実

問2 アの文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 説話 ② 軍記 ③ 随筆 ④ 日記 ⑤ 紀行

問3 アの文章の下線部cに「復興された」とあるが、その復興事業を担った最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 忍性 ② 重源 ③ 行基 ④ 慈円 ⑤ 明恵

問4 アの文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 唐 ② 宋 ③ 元 ④ 明 ⑤ 高麗

問5 アの文章の下線部 e に「『蒙古襲来絵巻（絵詞）』』とあるが、下の【図】は、この絵巻物を描かせたとされる が、 のときに出陣する場面である。 と に入れる人物と語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

【図】



(国立国会図書館デジタルコレクションの写本より。なお、一部加工したところがある。)

- ① X—竹崎季長 Y—文永の役
② X—竹崎季長 Y—文禄の役
③ X—竹崎季長 Y—弘安の役
④ X—安達泰盛 Y—文永の役
⑤ X—安達泰盛 Y—文禄の役
⑥ X—安達泰盛 Y—弘安の役

問6 アの文章の下線部 f に「絵巻物が数多く制作された」とあるが、鎌倉時代に制作された絵巻物として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

16

- ① 『平治物語絵巻』
- ② 『春日権現験記』
- ③ 『法然上人絵伝』
- ④ 『一遍上人絵伝』（『一遍聖絵』）
- ⑤ 『伴大納言絵巻』

イ 室町時代には、南北朝の動乱期に生まれた南北朝文化のあとを受け、北山文化と^g東山文化が栄え、公家文化や禅宗文化などが融合した新しい文化が誕生した。

禅宗は、京都・鎌倉に五山とよばれる寺院制度が整えられ、五山の禅僧の中には、文芸や外交などの分野で活躍する者も現れた。大内氏の援助で中国に渡り、帰国後に独自の水墨画を大成させた^hも、そうした禅僧の一人である。

一方、地方にも文化の拠点がつくれ、関東では、関東管領上杉憲実によって再興されたⁱは、「坂東の大学」としてヨーロッパにも紹介され、多くの僧侶や武士が学ぶために集まった。

また、武家や公家だけでなく、庶民も親しめる文化が生まれた。例えば、庶民の立身出世の物語などを題材にした^jとよばれる絵入りの短編物語が、盛んに読まれた。

問7 イの文章の下線部^gに「東山文化」とあるが、その内容として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 17

- ① 宗祇は、正風連歌を確立し、『新撰菟玖波集』を編集した。
- ② 慈照寺東求堂同仁齋は、違い棚と付書院が設けられた代表的な書院造の建築である。
- ③ 村田珠光は、茶の湯に精神的な要素を持たせ、侘茶を創出した。
- ④ 大和観世座の観阿弥・世阿弥父子が、能を大成させた。
- ⑤ 枯山水は、水を使わずに岩と砂を用いて自然を象徴的に表現する作庭様式で、龍安寺の石庭が有名である。

問8 イの文章の^hに入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。 18

- | | | |
|------|------|------|
| ① 周文 | ② 宗鑑 | ③ 如拙 |
| ④ 明兆 | ⑤ 雪舟 | |

問9 イの文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 懐徳堂 ② 閑谷学校 ③ 金沢文庫
④ 足利学校 ⑤ 開智学校

問10 イの文章の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 閑吟集 ② 節用集 ③ 御伽草子
④ 仮名草子 ⑤ 浮世草子

〔Ⅲ〕 次のア・イの史料を読んで、【図】を参照しながら、それぞれの設問に答えなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

ア 其上昔ハ在々ニ殊^{こと}ノ外^{ふつてい}銭^ひ払底ニテ、一切ノ物ヲ銭ニテハ買ハズ、皆米麦ニテ買タルコト、^a某田舎ニテ覚タル事也、近年ノ様子ヲ聞合スルニ、^b元禄ノ頃ヨリ田舎ヘモ銭行渡テ、銭ニテ物ヲ買コトニ成タリ…^c当時ハ旅宿ノ境界ナル故、金無テハナラヌ故、米ヲ売テ金ニシテ、商人ヨリ物ヲ買テ日々ヲ送ルコトナレバ、商人 ト成テ武家ハ 也、故ニ諸色ノ値段、武家ノ心俣ニナラヌ事也、武家皆 ニ住スルトキハ、米ヲ売ラズニ事スル故、商人米ヲホシガル事ナレバ、武家 ト成テ商人 也、去バ諸色ノ値段ハ武家ノ心マヽニナル事也

問1 アの史料の下線部aに「某」とあるが、某とはこの史料の著者である。この史料の著者として最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

21

- ① 新井白石 ② 稲生若水 ③ 安藤昌益
④ 太宰春台 ⑤ 荻生徂徠

問2 アの史料の下線部bに「元禄」とあり、下線部cに「当時」とあるが、元禄年間(1688～1704)から「当時」まで凡そ何年が経過していると考えられるか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 宝永年間までの約10年間
② 享保年間までの約20年間
③ 寛保年間までの約40年間
④ 宝暦年間までの約50年間
⑤ 寛政年間までの約100年間

問3 アの史料の , に入れる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。

- ① d—主 e—従 ② d—従 e—主
③ d—主 e—客 ④ d—客 e—主
⑤ d—従 e—客 ⑥ d—客 e—従

問4 アの史料の に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 知行所 ② 門前町 ③ 城下町 ④ 御料所 ⑤ 宿場町

問5 アの史料の書名として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 『折たく柴の記』 ② 『庶物類纂』 ③ 『政談』
④ 『経済録』 ⑤ 『自然真営道』

イ 一、近年金銀出入段々多く成り、g 評定所寄合の節も此儀を専ら取扱い、h 公事訴訟ハ末に罷成、評定の本旨を失ひ候、借金銀・買懸り等の儀ハ、人々 の上の事ニ候得ば、自今は、j 三奉行所にて濟口の取扱い致す間敷候、併欲心を以て事を巧み候出入ハ、不届を糺明いたし、御仕置申し付くべく候事

問6 イの史料の下線部 g に「評定所寄合」とあるが、三奉行のほかに評定所寄合において合議裁決することのできた役職として最も適切なものを、【図】中の①～⑧のうちから一つ選びなさい。

問7 イの史料の下線部hに「公事訴訟ハ末に罷成」とあるが、この解釈として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 27

- ① 金銭トラブルの訴訟が増えたが、その他の一般の訴訟も取り扱い続けた。
- ② 金銭トラブルの訴訟が増えたので、その他の一般の訴訟は取り扱えなくなった。
- ③ 金銭トラブルの訴訟が減ったので、その他の一般の訴訟を取り扱うようになった。
- ④ 金銭トラブルの訴訟が減ったが、その他の一般の訴訟も取り扱わなくなった。

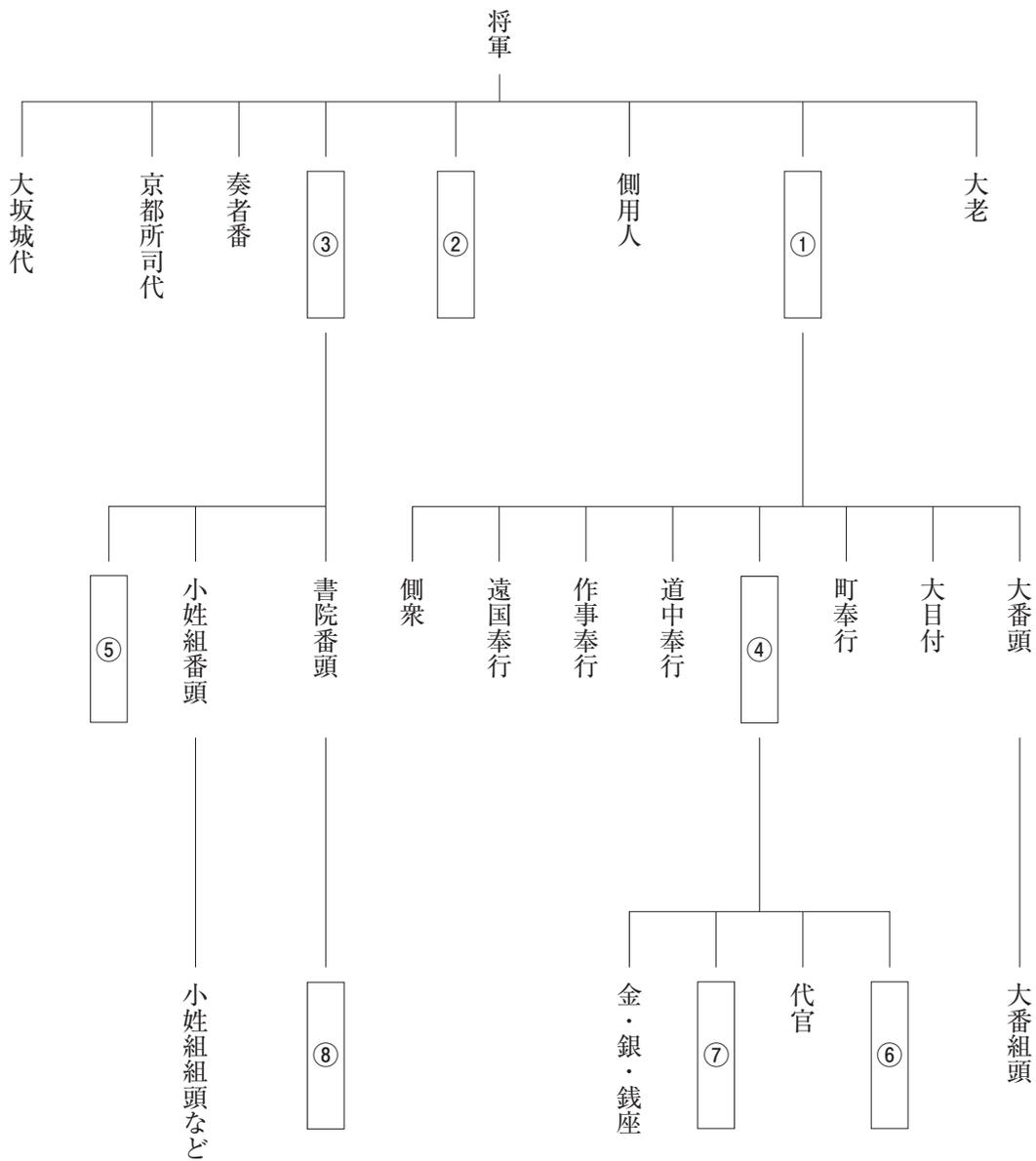
問8 イの史料の i に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 28

- ① 為替 ② 相対 ③ 専売 ④ 儉約 ⑤ 株仲間

問9 イの史料の下線部jに「三奉行」とあるが、勘定奉行として最も適切なものを【図】中の①～⑧のうちから一つ選びなさい。 29

問10 イの史料の下線部jに「三奉行」とあるが、寺社奉行として最も適切なものを【図】中の①～⑧のうちから一つ選びなさい。 30

【図】



〔Ⅳ〕次のア～コには、それぞれ二つの文章がある。これらを読んで、次のようにマークしなさい。

- a・bがともに正しい場合は ① aが正しくbが誤りの場合は ②
aが誤りでbが正しい場合は ③ a・bがともに誤りの場合は ④

ア 31

- a 神仏分離令が1868年に出され、王政復古による祭政一致の立場から、神仏習合は否定された。
- b 大教宣布の詔は、1870年に天皇の名で内閣から出され、神道の国教化が表明された。

イ 32

- a 浦上教徒弾圧事件は、明治政府がキリシタンを表明した信徒を捕えて各地に流罪とした事件で、外国から抗議を受けた。
- b キリスト教は、1873年にキリシタン禁制の高札が廃止され、その布教は黙認された。

ウ 33

- a 教育令は1872年に公布され、小学校から大学校までの学校制度を定め、とくに高等教育の普及に力がそそがれた。
- b 女子教育では、1872年に東京ではじめて女学校ができ、ついで女子師範学校が設けられた。

エ 34

- a 旧江戸幕府の開成所・医学所などを起源とする諸校を統合して、1877年に東京大学が設立された。
- b 私学では、福沢諭吉の慶応義塾、新島襄の同志社などが創設され、特色のある学風がつくられていった。

オ **35**

- a 福沢諭吉は、『西洋事情』『学問のすゝめ』『文明論之概略』という啓蒙書などを著し、国民にさかんに読まれ、大きな影響を与えた。
- b 西周は、イギリス留学から帰国した後、イギリス人の著作を翻訳し、スマイルズ『西国立志編』やミル『自由之理』が刊行された。

カ **36**

- a 日刊新聞は、舶来洋紙1枚に両面刷りの『東京日日新聞』が1870年に創刊され、日本最初のものとなった。
- b 明六社は、1873年に森有礼の発議によって組織され、翌年から『明六雑誌』を発行し、封建思想の排除と近代思想の普及につとめた。

キ **37**

- a 蝦夷地から改称された北海道は、1869年に設置された北海道庁によって、開拓事業がすすめられた。
- b 1876年に設立された札幌農学校は、イギリス人のクラークが招かれ、農業改良や生産発展をめざす教育がなされた。

ク **38**

- a 電信線は、1869年に東京・横浜間で架設され、1871年には長崎・上海間の海底電線も開通した。
- b 官営の郵便事業は、大久保利通の建議により、1871年に発足し、まもなく全国均一料金制をとった。

ケ

39

- a 明治10年代（1877～86）の東京の銀座通りには、煉瓦造の建物が並び、電灯・人力車・乗合馬車などの目新しい風景がみられた。
- b 鉄道は、1872年に新橋・横浜間、1874年に大阪・神戸間で敷設され、その後主要な都市の間に開通した。

コ

40

- a 断髪令が1871年に布告され、ざんぎり頭が文明開化の象徴となり、「ざんぎり頭をたたいてみれば、文明開化の音がする」といわれた。
- b 刀は、1871年の脱刀令により脱刀の自由が認められ、1876年の廃刀令により帯刀が禁止された。